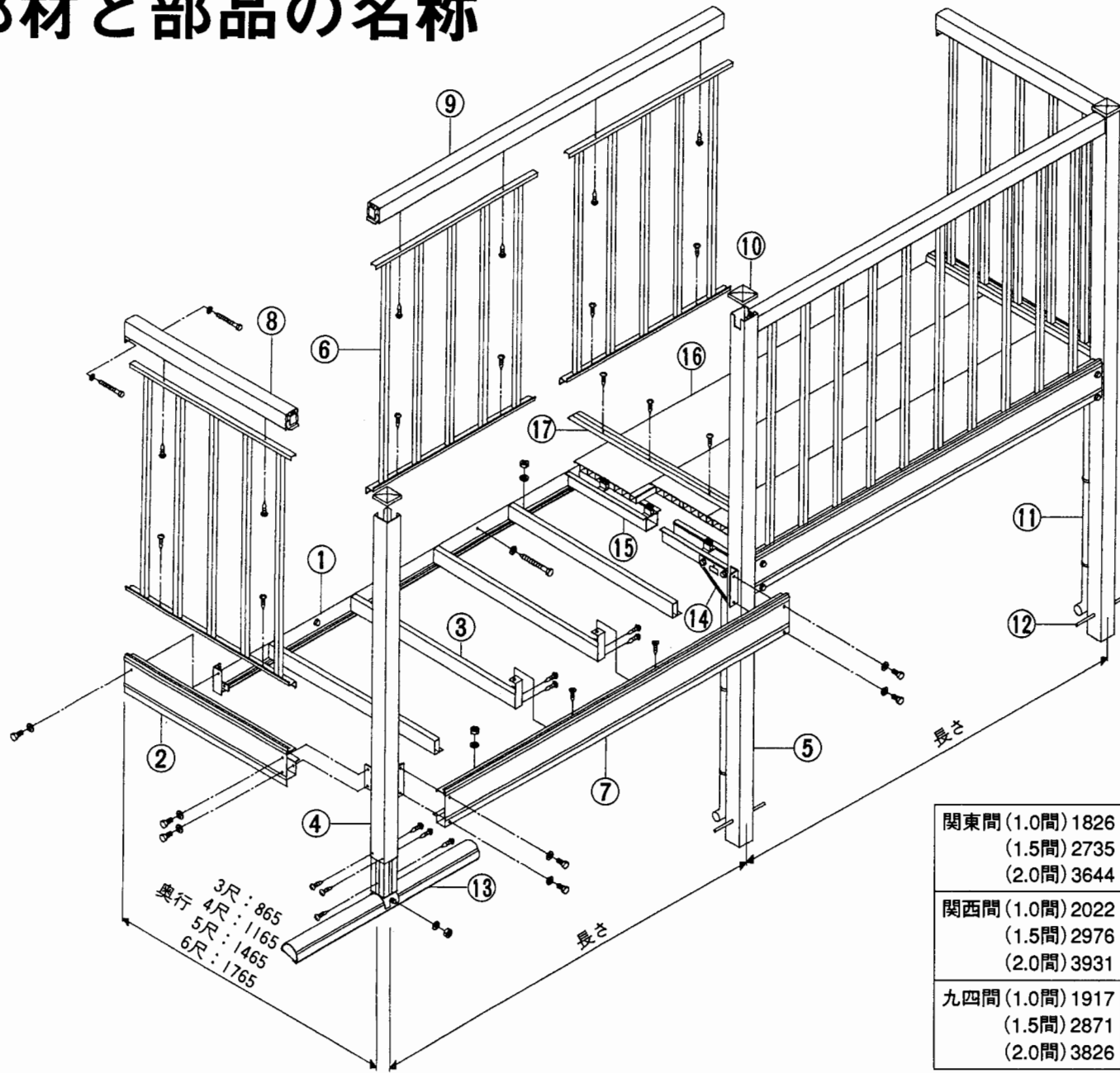


バルコニー7型取付説明書

部材と部品の名称

取説番号 ME-1047

改-2



〈部材名称・部品名称〉

- ① 根太がけ
- ② 妻ばり
- ③ 根太
- ④ 柱
- ⑤ 間柱
- ⑥ 格子パネル
- ⑦ けた
- ⑧ 妻笠木
- ⑨ 前笠木
- ⑩ 柱キャップ
- ⑪ たて樋
- ⑫ アンカー棒
- ⑬ つか受け
- ⑭ 凍結根太ブラケット
- ⑮ 連結根太
- ⑯ デッキ材
- ⑰ 連結根太化粧カバー

別売部材・部品

製品名称	製品記号	梱包内容
出隅・入隅用 コーナー柱	柱建て式 2■B1CPN	柱①、部品セット
	屋根置き式 2■B2CPN	柱①、調整柱① 束受け①、部品セット
長 柱	柱建て式 2■B1PLN	柱②、部品セット
	屋根置き式 2■B2PLN	柱②、調整柱② 束受け②、部品セット
長 間 柱	柱建て式 2■B1RPLN	柱①、部品セット
	屋根置き式 2■B2RPLN	柱①、調整柱① 束受け①、部品セット
戸袋調整部品	2■BT32N	戸袋調整ボール① 部品セット
物干しセット	自在タイプ 2■BMO	物干し柱①、横材①
	柱建て式 3尺用 2■BMO3	物干し柱①、横材①
	柱建て式 4~6尺用 2■BMO6	物干し柱①、横材①
物干し金物	自在タイプ 2■BMOK	金物②
	壁付タイプ 2■BMOK■	金物③
奥行調整 ブラケット	調整巾 90mm~150mm用 VTSC	ブラケット⑩
	調整巾 150mm~270mm用 VTSD	ブラケット⑩

※製品記号中の■には色記号を入れてご注文ください。

部材拾い出し表

製品名称	製品記号	1.0間		1.5間		2.0間		2.5間		3.0間		3.5間		4.0間		4.5間		5.0間		5.5間		6.0間	
		3尺	4尺	3尺	4尺	3尺	4尺	3尺	4尺	3尺	4尺	3尺	4尺	3尺	4尺	3尺	4尺	3尺	4尺	3尺	4尺	3尺	4尺
柱	柱置き式 2■B1PN	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
間柱	柱置き式 2■B1RPN																						
機材	1.0間 2■BY10N	1	1	1	1																		
	1.5間 2■BY15N			1	1	1	1																
奥行材	3尺 2■BT3N	1																					
	4尺 2■BT4N		1																				
根太	1.0間×3尺 2■BN103N	1																					
	1.0間×4尺 2■BN104N		1																				
	1.0間×5尺 2■BN105N			1																			
	1.0間×6尺 2■BN106N				1																		
	1.5間×3尺 2■BN153N				1																		
	1.5間×4尺 2■BN154N					1																	
	1.5間×5尺 2■BN155N						1																
	1.5間×6尺 2■BN156N							1															
	2.0間×3尺 2■BN203N						1																
	2.0間×4尺 2■BN204N							1															
2.0間×5尺 2■BN205N								1															
2.0間×6尺 2■BN206N									1														
連結根太	3尺 2■BRN3							1															
	4尺 2■BRN4								1														
	5尺 2■BRN5									1													
	6尺 2■BRN6										1												
前面パネル	1.0間 2■BBT10	1	1	1	1																		
	1.5間 2■BBT15			1	1	1	1																
	2.0間 2■BBT20					1	1	1	1														
側面パネル	3尺 2■BBT3	1																					
	4尺 2■BBT4		1																				
	5尺 2■BBT5			1																			
	6尺 2■BBT6				1																		
標準部品箱	2■BBOXN	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
連結部品箱	2■BRBOXN																						
デッキ	1枚入 BD101N	1	1	1	1																		
	2枚入 BD102N		1	2	1																		
	3枚入 BD103N			1	1																		
	1枚入 BD151N				1	1	1	1															
	2枚入 BD152N					1	2	1															
	3枚入 BD153N						1	1	2	2	1	1											
材	1枚入 BD201N							1	1	1	2	2	2										
	2枚入 BD202N								1	2	1	2	4	2									
	3枚入 BD203N										1	1	2	2									
梱包数合計		9	9	10	9	9	10	9	9	10	17	17	19	17	19	19	19	25	28	28	25	28	28

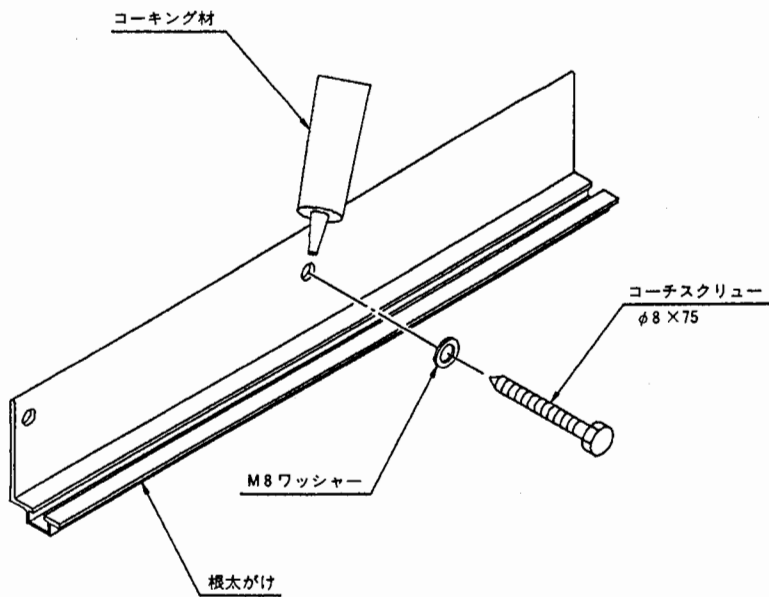
※製品記号中の■には色記号を入れてご注文ください。
 ※上記拾い出し表は、たて格子Aで拾い出しています。その他のパネルの場合はカタログのパネルバリエーションをご参照ください。
 ※上記拾い出し表のデッキ材はシルバークレーで拾い出しています。その他の色の場合はカタログの別売品をご参照ください。

施工注意事項

- 根太がけの取付の際には、建物の構造をよく調べた上で、必ず柱・間柱などの強度部材に取付ください。
- 妻ばり、笠木などは、戸袋に直かに固定することは、強度上危険ですので、取付位置に戸袋など障害物がある場合には、必ず戸袋調整部品を使用してください。
- 急結剤は使用しないでください。
- 海砂は充分水洗いしてください。
- 当社の商品は耐食アルミニウム合金押出型材や、アルミニウム鋳物合金を主材に陽極酸化被膜（アルマイト）とクリア塗装、又は塗料による塗装などの表面仕上げを施して腐食防止してありますが、施工の際は、下記の点にご留意の上お取扱ください。
- ①モルタルコンクリートには急結剤を使用しないでください。腐食して危険な状態になることがあります。もし使用する場合は、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウムの入っていないものを使用するようにしてください。
- ②海砂を使用するときは、充分水洗いしたものをご使用ください。水洗いが不十分の場合は腐食する可能性があります。
- ③輸入木材は塩分が含浸しているものがありますので、アルミと接触する部分には、木材に塗装するようにしてください。
- ④アルミニウムと異種金属（特に銅系）と直接触れないようにしてください。電位差により電食を起こし、アルミニウムが腐食し孔があいたりします。もし使用する場合は、アルミニウムと接触する銅系等にビニールテープを貼り、絶縁処理してください。

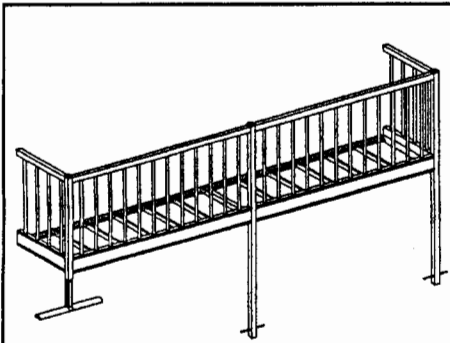
組立順序

1 根太がけの取付

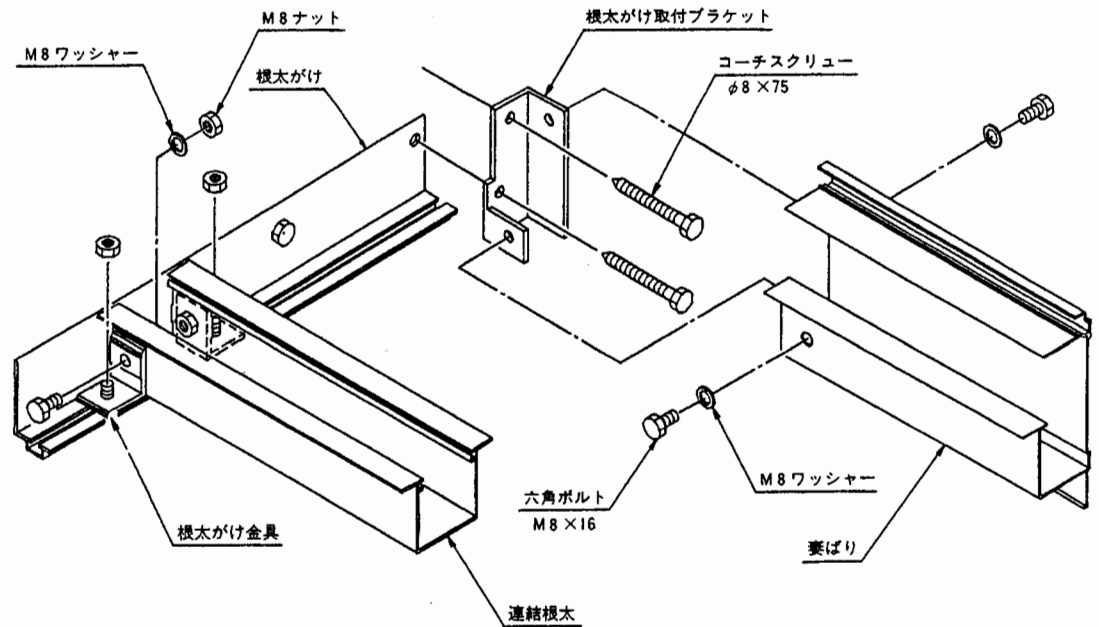


1. 根太がけ取付位置の水平を墨出ししてください。
2. 根太がけをφ8×75のコーチスクリューで固定してください。(両端の加工孔は除きます。)

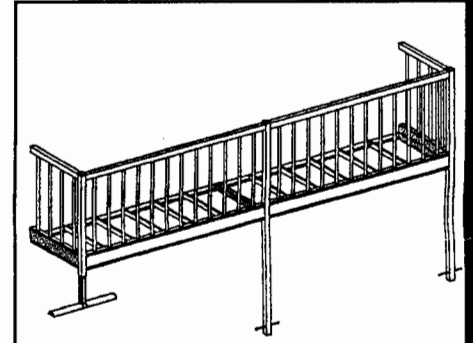
※コーチスクリューの下孔には、コーキング材を充填してください。



2 妻ばりと連結根太の組立

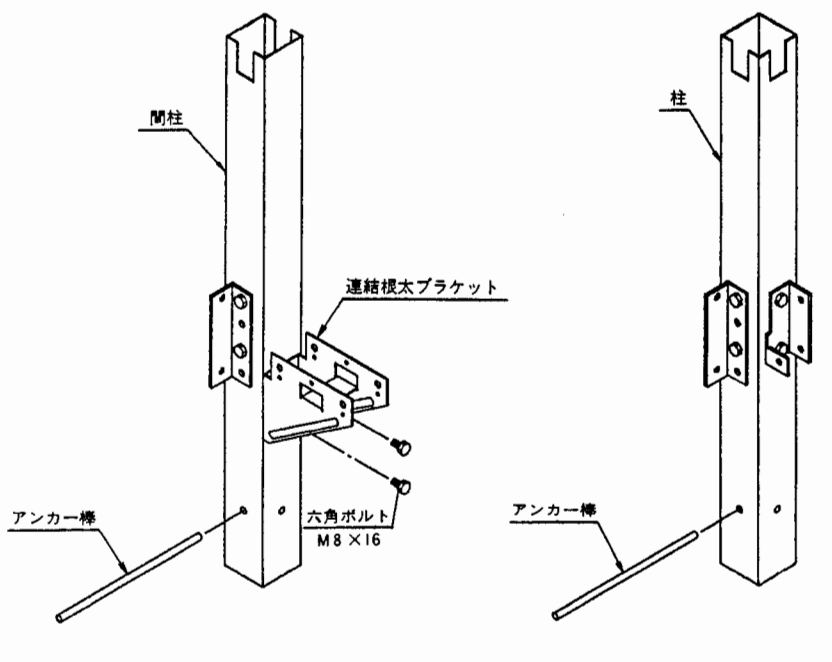


1. 根太がけの端部に根太がけ取付ブラケットをφ8×75のコーチスクリューで固定してください。
 2. 妻ばり(右、左)を根太がけ取付ブラケットに固定してください。
 3. 連結根太を根太がけに固定してください。
- ※妻ばりの右、左と連結根太は水抜き孔が柱側になるように確認して固定してください。

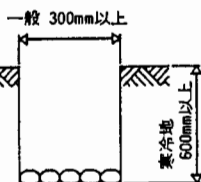


3 柱の長さ合わせと部品の取付

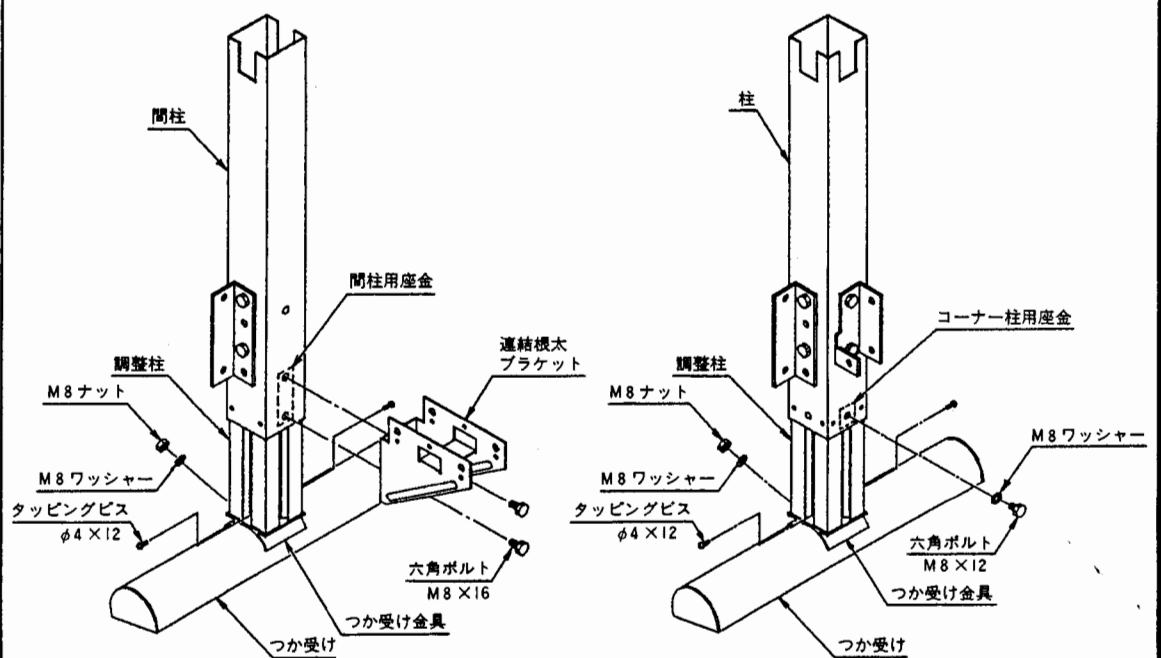
柱建て式の場合



1. 柱の埋込み用孔位置を決めて孔を掘ってください。
2. 間柱には連結根太ブラケットを取付してください。
3. 妻ばりの水平を出し、柱の垂直を確認して柱の切断寸法を実測して、所定の寸法に切断してください。
4. 柱及び間柱にアンカー棒を差し込んでください。

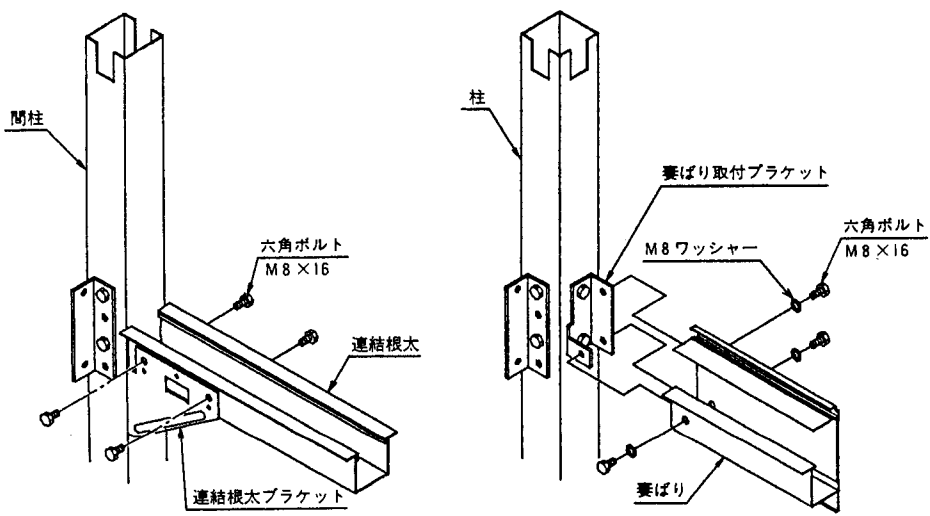


屋根置き式の場合

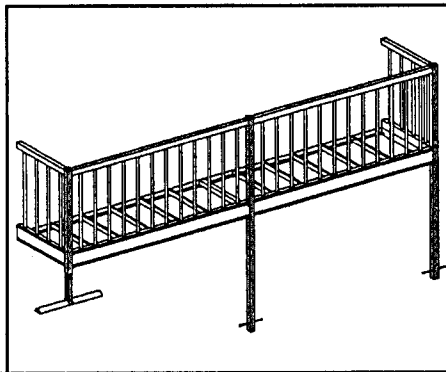


1. 調整柱に、つか受け金具をφ4×12タッピングビスで固定してください。
2. 柱に調整柱を差し込んでください。
3. a) 柱に調整柱を差し込む際に、コーナー柱用座金を調整柱に差し込み、M8×12のボルトで仮止めしてください。
b) 間柱に調整柱を差し込む際に、間柱用座金を調整柱に差し込み、連結根太ブラケットと一緒にM8×16のボルトで仮止めしてください。
3. つか受けに、つか受け金具をM8ナットで仮止めしてください。

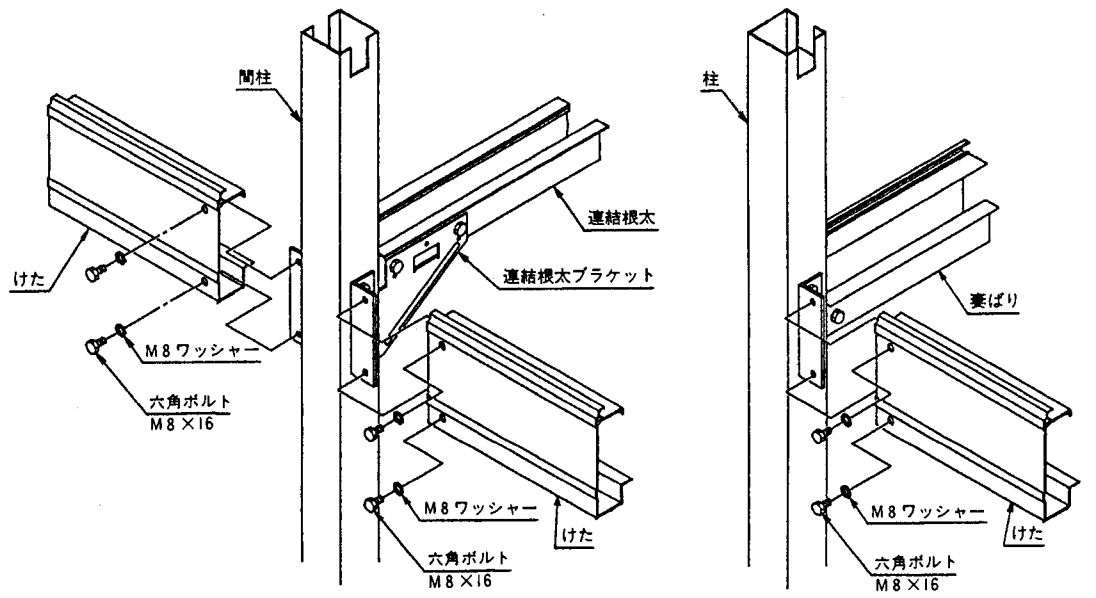
4 柱の組立



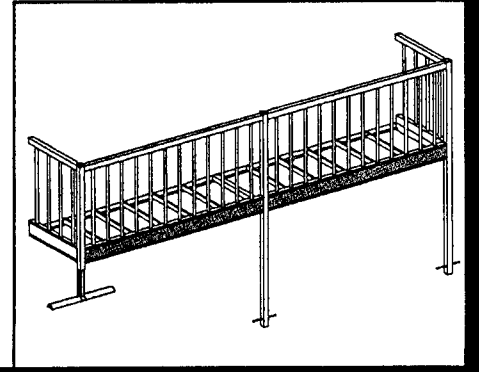
1. 水平を確認して、妻ばりを柱に固定してください。
 2. 連結の場合は、連結根太を間柱に固定してください。
- ※屋根置き式の場合は、妻ばり、連結根太を取付した後に柱及び間柱の長さを調節してください。
- ※妻ばり、連結根太は、水切りを考慮して、バルコニー柱側に水勾配をつけるように取付してください。



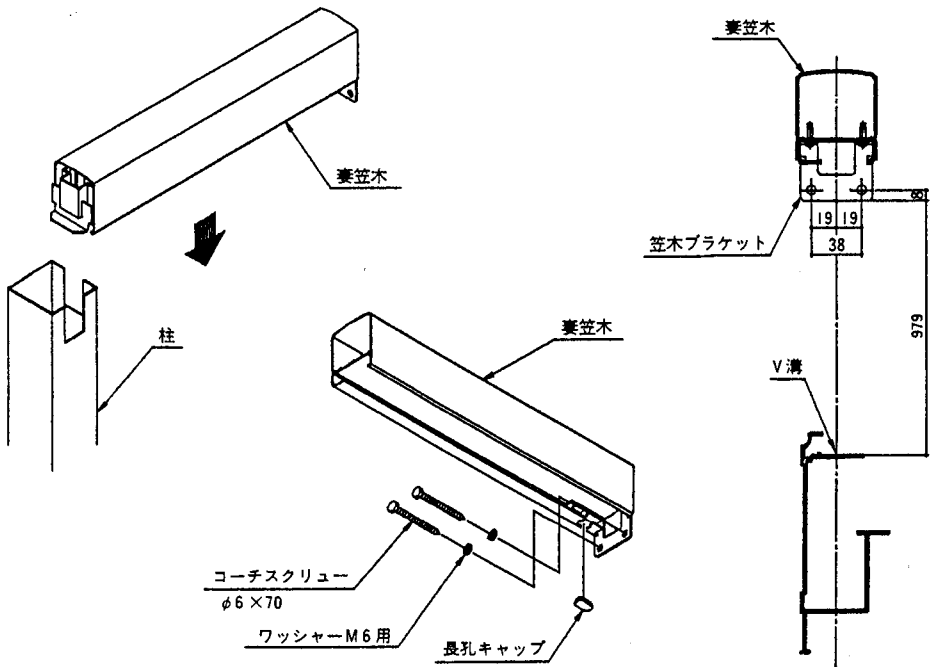
5 けたの組立



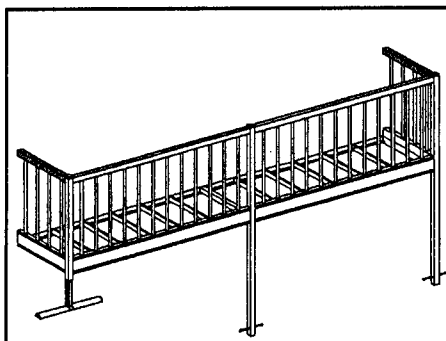
1. けたをコーナー柱に固定してください。
2. 連結の場合は、けたを間柱に固定してください。



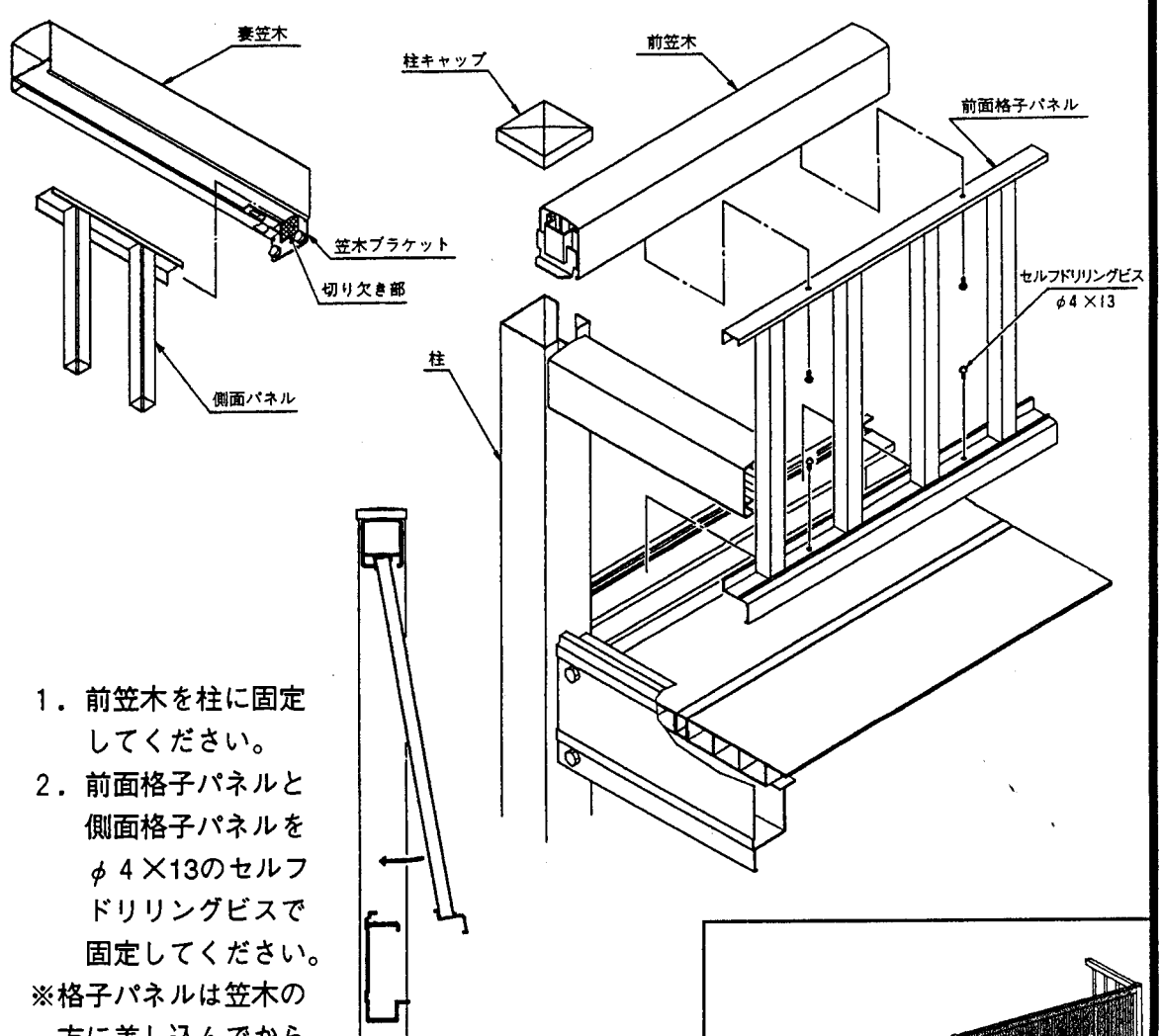
8 妻笠木の組立



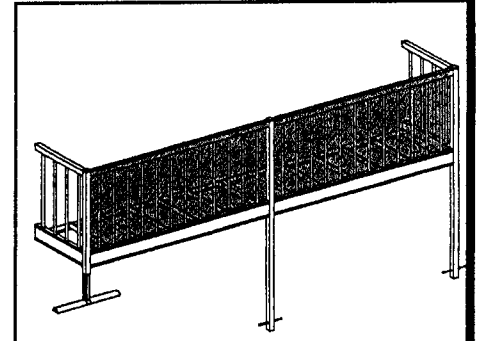
1. コーナー柱に妻笠木を差し込んでください。
 2. 妻笠木の位置出しをしてください。
- ※妻ばり中央のV溝が笠木ブラケットの中心です。
3. 笠木ブラケットをφ6×70のコーチスクリューで固定してください。
- ※コーチスクリューの下孔にはコーキング剤を充填してください。



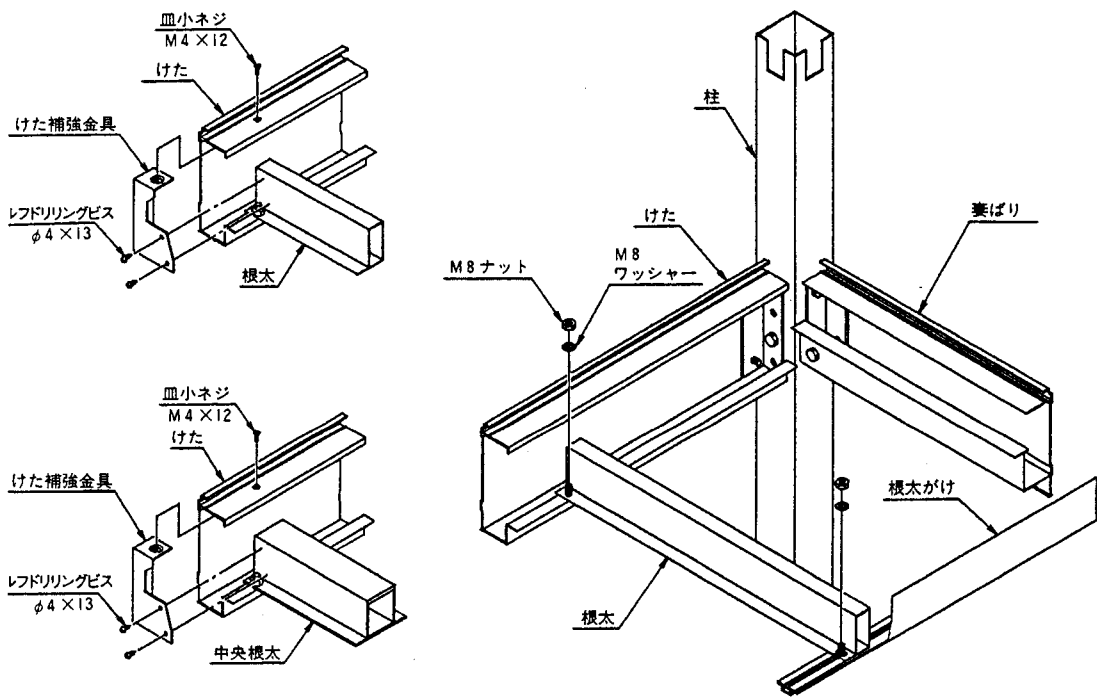
9 前笠木と格子パネルの組立



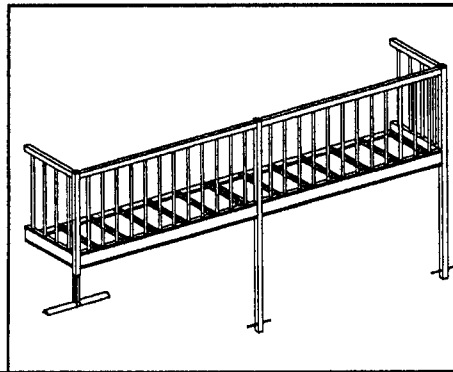
1. 前笠木を柱に固定してください。
 2. 前面格子パネルと側面格子パネルをφ4×13のセルフドリリングビスで固定してください。
- ※格子パネルは笠木の方に差し込んでからはめてください。
- ※側面格子パネルは妻笠木ブラケットの切り欠き部に差し込んでからはめ込みます。
3. 柱キャップは柱に、はめ込んでください。



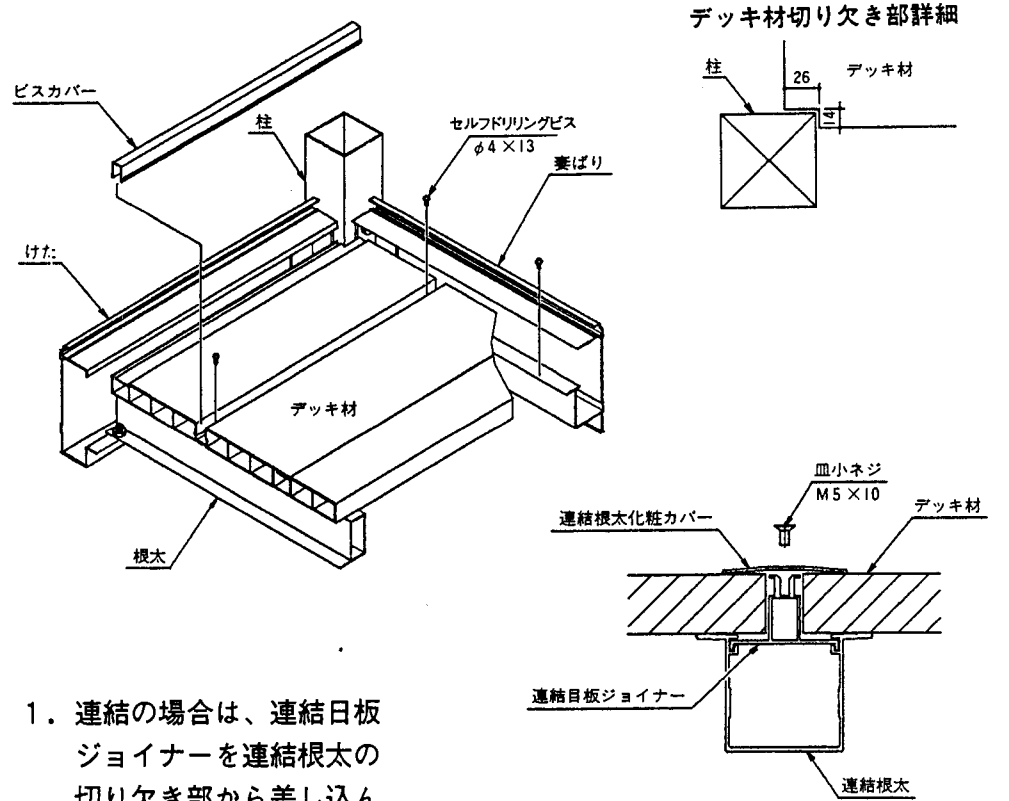
6 根太の組立



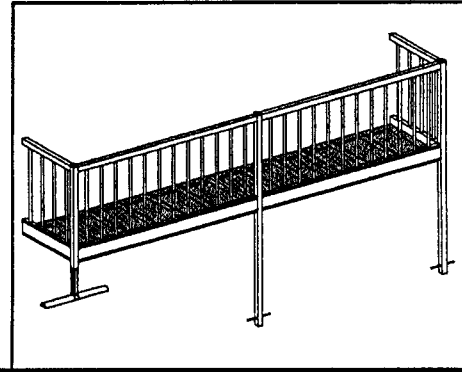
1. 根太の小判形孔が建物側になるように固定してください。
※出幅が5、6尺の場合には、中央根太をけたの中心（関東間：1本、関西・九四間：中央振り分けで2本）に取付してください。
2. 中央部の根太に、けた補強金具（関東間：1個、関西・九四間：中央振り分けで2個）を必ず取付してください。
3. 下げ振り、水準器などで、けた、妻ばり、柱の水平、垂直を確認してください。



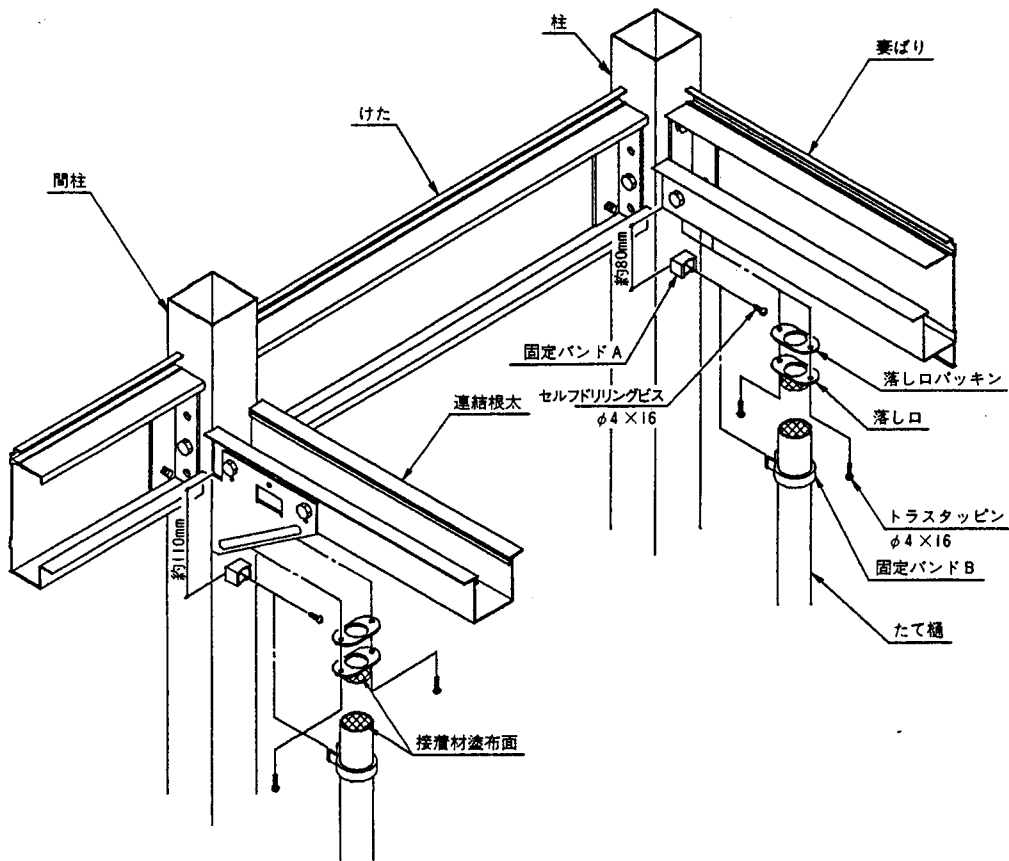
7 デッキ材の組立



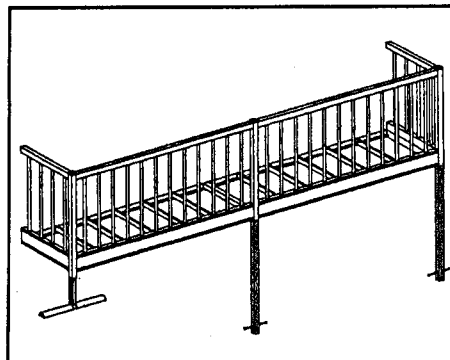
1. 連結の場合は、連結目板ジョイナーを連結根太の切り欠き部から差し込んでください。
 2. 根太、妻ばり、連結根太に、デッキ材をφ4×13のセルフドリリングビスで取付してください。
 3. ビスカバーをはめ込んでください。
 4. 連結の場合は、連結根太化粧カバーを取付してください。
- ※デッキ部が柱に当たりますので、上図のように右、左を切り欠いてください。



11 たて樋の組立



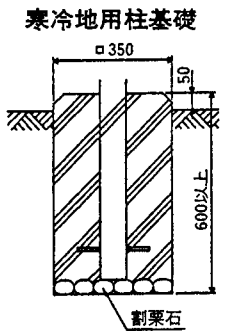
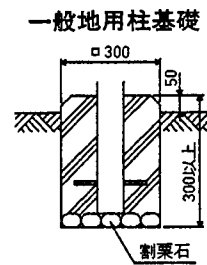
1. 落し口にパッキンを貼り付けてから、妻ばり、連結根太にφ4×16のトラスタッピンで固定してください。
2. 固定バンドAを柱に4ヶ所（等間隔）φ4×16のセルフドリリングビスで固定してください。
3. たて樋と落し口を接着剤で接着してください。
4. 固定バンドBをたて樋にはめ込んで、固定バンドAと固定してください。



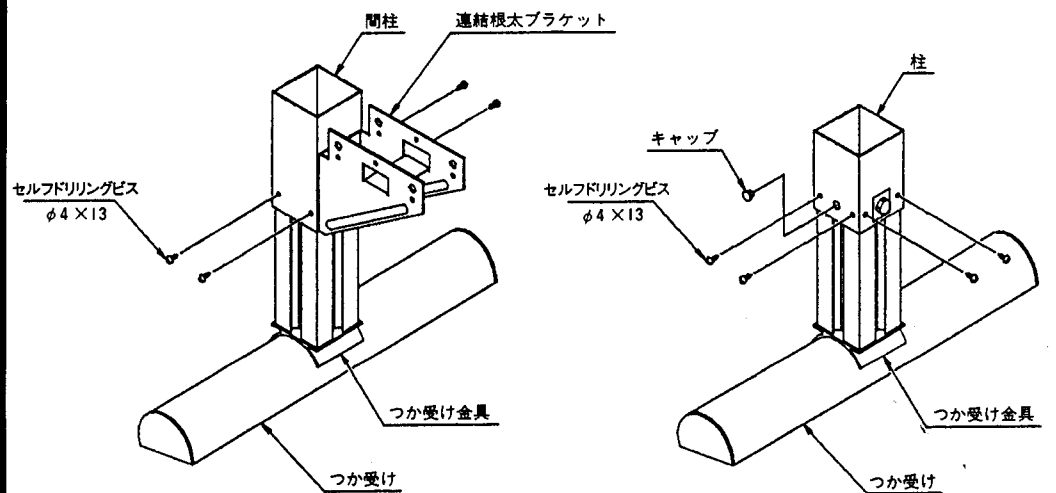
12 柱の固定方法

■ 柱建て式の場合

1. 柱の下には、必ず割栗石を入れてください。
2. コンクリート打ちは、すべての作業が完了し、水平、垂直を再確認した後に行ってください。



■ 屋根置き式の場合



1. すべての作業が完了し、水平、垂直を確認した後にφ4×13のセルフドリリングビスで柱と調整柱固定してください。
 2. 柱の下部の孔にキャップをしてください。
- ※屋根置き式の場合、屋根勾配が1.5寸以下になりますと、つか受けボルトがつか受け金具に止まらなくなることがあります。この時には、つか受けとつか受け金具を直接ビス止めしてください。

